

厚生年金の知識

11

やさしい国民年金相談室

表の一級または二級の障害の状態に該当しているか、または、その後六十五歳までの間に該当しなければなりません。

が納付する保険料の積立金と国庫
金によって、賄なわれており、国
民年金の健全な財政を保つため、
年金額の引上げに伴ない、保険料

現在、国民のだれもが、いざ
れかの年金制度に加入すること
になっており、二つ以上の公的
年金制度に加入した場合も、一
定の条件さえ備えれば通算年金

⑤以前に脱退手当金の額を超える障害年金や障害手当金のこと。
⑥六十歳に達していること。
④他の年金を受ける権利がないこと。

加入者が病気やけで倒されたりしたときは? たとえば、国民年金の被保険者である妻が、五十二歳で脳卒中で倒れました。障害年金を受けられますか。

が、ご質問の内容のみではわかりませんが、以前より続けて保険料を納期どおりに納めていれば、当然その要件を満たすことになります。

四月より月額三七七〇円から四五〇円に改定されます。

しかし、なかには、国民年金の保険料を滞納したり、長い間外国に行っていたりしたために八十歳になつても老齢年金ある

脱退手当金の支給額は、期間中の標準報酬月額の平均被保険者期間に応じた率をかくして算出されます。

している期間中にかかる病氣や
けがにより障害者になった場合に
支給されます。支給を受けるには
保険料納付等及び障害について、

つきに障害についての要件ですが、あなたの奥様の場合とくに問題となるのは、一級または二級に該当しているかどうかです。昌吉の二支の毛毛を落す、

必ず保険料は、期限までにおさめ
るようにならう。



られない場合もあります。
このため、例外として、「脱退手当金」の制度があります。
脱退手当金は、つきの条件を
すべて満たしている場合に支給
されます。

脱退手当金

①保険料納付等についての要件
病気やけがについて、初めて診療を受けた日（初診日といいます）の前日において、保険料を納付したり、免除を受けた状況が、つぎのいずれかに該当していなければなりません。

(1) 最近の一年間が保険料をすべて内りて、もる用間であるか、他の公

書を有するときは、級に一般の機能に著しい障害を有するときは、二級に該当します。また、一級または二級に該当するかどうかの認定は裁判請求書に添付された国民年金診断書によって行なわれるところになります。

国民年金の老齢年金（通算老齢年金を含む）、厚生年金、船員保険の各年金受給者は、現況届の提出時期が誕生日となつておりますので現況届が送られてきましたら早目に提出しましょう。

なお、現況届のハガキは誕生日の十日までに必着するよう社会保険庁へ差寄しておきましょう。（また、

脱退手当金

勝手に基金の支給を受けると
その計算の基礎となつた被保険
者期間は、将来「被保険者」でな
かつたものとのみなされますの
で、再び被保険者になつたり、
他の公的年金制度に加入して老
齢年金または通算老齢年金を受
けようとするときには、期間が不
足して受けられないような場合
があります。

脱退手当金を請求するときは
その点、注意が必要です。

(2) 障害についての要件

(3) 保険料を納めた期間が十五年以上であることなど。

(2) 最近の三年間の保険料を納めているか、または、免除を受けていること。

(2) 年金の加入期間と国民年金の保険料を納めている期間を合せて一年以上になっていること。

(3) 保険料を納めた期間が十五年以上であることなど。

② 障害についての要件

初診日から、一年六ヶ月を経過した日（その前に症状が固定した時は、その日）に、国民年金法別

国民年金制度は、老齢になつたり、不慮の事故にあい障害者になつたり、夫を亡くし母子世帯になつたりしたばあいに、年金を支給して、生活の安定をはかることを目的としています。

年金額は、消費者物価指数が五%を超えて変動したときは、それを基準にして改定されることとなっていますので、年金のねうちが下がることはあります。

国民年金の給付費は、被保険者

●社会保健相談●

四月の相談日は
四月二十一日(火)午前十時から
午後四時までです。
あらかじめ連絡ください。

●社会保健相談●

四月の相談日は

卷之三

四月二十一日(火)午前十時から
午後四時までです。
あらかじめ連絡ください。

通緝先
市役所市民課國民年金係
③一一一 内線二四一